

「厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針」に
基づく第三者検証の実施報告書

2017年12月28日


国立研究開発法人
医薬基盤・健康・栄養研究所
理事長 米田悦啓 殿

神戸大学大学院医学研究科
附属動物実験施設
准教授

塩見 雅志 

塩見 雅志

京都大学
ウイルス・再生医科学研究所 感染症モデル研究センター
准教授

三浦 智行 

三浦 智行

貴機関で実施された平成28年度自己点検及び評価の結果について、検証を下記のとおり実施したことを報告します。

記

対象施設： 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所大阪本所（彩都）動物実験施設
〒567-0085 大阪府茨木市彩都あさぎ7-6-8

実施日時： 平成29年11月30日 13:00-17:00

実施方法

- ・ 利益相反がなく、動物実験、実験動物に精通している2名により検証作業を行う。
- ・ 貴機関が実施した「平成28年度自己点検・評価報告書」と関連資料の事前確認。
- ・ 「平成28年度自己点検・評価報告書」と関連資料に基づく質疑応答、及び施設の視察。
- ・ 質疑応答時に口頭で意見を述べるとともに、外部検証評価表の「改善に向けた意見（検証者記載欄）」にコメントを記載。

検証結果の概要

国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所の大阪本所（彩都）における平成28年度自己点検・評価の結果について第三者検証を実施した。自己点検・評価での点検項目（組織・体制の整備、規程類の制定、委員会の設置、動物実験の実施体制、教育訓練、自己点検・評価、情報公開、安全管理、飼養保管など）について関係資料および質疑応答の内容に基づき検証したところ、改善が望まれる事項が複数見られたものの、厚生労働省の基本指針および環境省の実験動物飼養保管基準に概ね準拠した運営体制の整備と動物実験の実施がなされていると認められた。指摘事項の改善によって、より適切な動物実験の実施と実験動物の飼養保管がなされるよう希望する。

以上